


<p>研修名</p>	<p><b>自殺対策支援者研修「うつ病の早期介入と自殺予防」</b> ～「メンタルヘルス・ファーストエイド」の理解と活用～</p>
<p>講師</p>	<p>九州大学病院 精神科神経科 講師 加藤 隆弘 先生 九州大学大学院 医学研究院 精神病態医学分野 テクニカルスタッフ 浦田 裕美 先生</p>
<p>開催日時</p>	<p>平成 30 年 9 月 18 日 (火) 14:00 ～ 17:00</p>
<p>開催場所</p>	<p>北九州市総合保健福祉センター 6 階 視聴覚室</p>
<p>参加者数</p>	<p>33 名 ○参加者の内訳 介護支援専門員、保健師、看護師、無資格者など</p>
<p>研修の 内容等</p>	<p>・各種相談支援窓口・機関において相談支援に従事する人を対象に、「メンタルヘルス・ファーストエイド(こころの応急処置)」を紹介した。相談支援の現場において、うつ病患者への対応について解説を行い、グループワークを通して参加者同士の情報交換や意見交換を行った。</p> <p>・講義形式にてメンタルヘルス・ファーストエイドとは何か、また、うつ病などの疾患について学び、演習形式(ロールプレイ)にて「傾聴」や「リスク評価」の場面で良い例、悪い例を実際に体験することにより、実践で活かして頂くことを目的とした。</p> 
<p>参加者の声</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・り・は・あ・さ・るを意識することで、早急な対応ができると思いました。</li> <li>・声かけの仕方が参考になった。傾聴することは長く時間をとって聞かなければならないということではないのだということを知ることができた。</li> <li>・実際にシナリオどおりにロールプレイングをすることによって、イメージができたので活動に活かしたい。</li> <li>・非常に有意義な研修でした。ありがとうございました。</li> </ul>